



ハイブリッド手術室で行われる脳血管内治療

医療法人社団英明会

大西脳神経外科病院

最新技術とチーム医療の充実により
迅速な脳血管内治療を地域に提供

脳血管内治療に特化した
チームで迅速な対応を

脳卒中に代表される脳血管障害の治療は、ここ15年で大きく進歩した。中でも重要な位置を占めるのが、血管内に通したカテーテル

受付時間 8:30~11:30
13:30~16:30
休診日：土・日・祝・年末年始
※救急医療は24時間対応

〒674-0064
兵庫県明石市大久保町江井島1661-1
TEL.078-938-1238
FAX.078-938-1236
<http://www.onc.akashi.hyogo.jp/>

を病変まで到達させ、そこから機器を送り込んで治療する脳血管内治療だ。「脳動脈瘤の破裂を防ぐためのコイル塞栓術や、脳梗塞で血管を詰まらせた血栓を直接取り除く血栓回収療法も10年程度しか歴史のない治療です。以前に比べ想像を絶する進歩を遂げたと言えます」と語るのは大西脳神経外科病院の大西英之理事長。同院は、兵庫県明石市や神戸市西区の脳疾患治療を担う医療機関として、この脳血管内治療を重点的に行う体制を整えてきた。

治療の軸となつているのが、同院に設置された脳卒中・SCUセンターだ。「特に脳梗塞治療は時間との勝負であり、いかに迅速に治療を開始できるかが重要です。チームとして一分野の治療に特化することで、方向性が明確になり、スムーズに治療へ進めます」。そう説明する大西宏之医師を含め、日本脳神経血管内治療学会認定脳血管内治療専門医が3名常勤している、センター内の「脳血管内治療チーム」により、脳梗塞の救急や、脳動脈瘤治療に対応。24時間治療を実施できる体制のもと、救急患者が搬送されてから1時間以内での治療開始を可能にしている。

加えて、開頭手術の経験が豊富な医師も在籍し、密に連携していることも、同院の治療の信頼性に繋がっている。「決して血管内治療だけにこだわってはいません。中には、開頭手術の方が安全かつ確実な治療を目指すケースもあります。両分野の医師が最良の治療を目指してデイスカッションしていくのです」と高橋賢吉医師。

こうした脳血管内治療に限らず、同院では先端の機器を積極的に導入し、治療に役立ててきた。現在では、身体への負担が少ない、超音波の集中照射による脳疾患治療の研究も進めているという。「日々患者さんを診ていると、足りないことや困ることが見えてきます。それをいかに乗り越えるかを常に考えてきました」（大西英之理事長）と、同院はより優れた脳疾患治療の実践を追い求めている。

取材／鈴木健太



理事長・院長
大西 英之

日本脳神経外科学会認定
脳神経外科専門医ほか。



脳血管内治療科主任部長
脳神経外科部長
大西 宏之

日本脳神経血管内治療学会認定脳血管内治療専門
医ほか。



脳神経外科手術部長
高橋 賢吉

日本脳神経血管内治療学会認定脳血管内治療専門
医ほか。